

# Challenge 2019

チャレンジ2019

## 清松総合鐵工(株)

<http://www.kiss.ne.jp>

### 35億売ってハワイに行こう！

#### 【半世紀余の実績を形にして】

建物の基盤となる鉄骨の設計・加工から現場組立までを総合的に行っていけるが大分県宇佐市に本社を構える清松総合鐵工(株)（清松 芳夫代表）。昭和42年に当地で創業開始以来半世紀を超える老舗の鉄骨工事業者（ファブリケーター）で、人々の生命と財産を守ることを使命とするという創業時の志を守り信用を得て、大分県内では並ぶところがない業容を誇り、九州内でもトップクラスの実績をあげている会社である。



平成29年3月に創立50周年を迎えるにあたり記念事業として取り組んでいた新社屋および九州屈指の一次加工ライン工場である第5工場や大規模鉄骨を想定した資材置き場を新設し、溶接ロボット（4基）をはじめとした機械化・システム化を積極的に展開することで、顧客から安心して委ねてもらえる「信頼のファブ」として更なる飛躍を遂げている。

平成29年7月には国土交通大臣性能評価基準Hグレードに認定され、平成30年にはAW検定認定工場を取得して、更に鉄鋼商社や大手ゼネコンからの大型物件の受注を伸ばしている。

#### 【メディアを活用】

そのような同社ではあるが、何よりそれを有名にしたのはメディア戦略にあると誰もが認めるところ。清松社長が自ら作詞・作曲したというCMソングは、軽快で一度聴けば頭に残り思わず口ずさんでしまう。CMだけにとどまらず、テレビやラジオへの出演、SNSなどを活用した広報は同社の認知を確実に上げている。中でも毎月第3土曜日12時～放送されているFM大分「おしゃべりーゼンターデー」では「よっしいキヨマツ」というキャラで自身の考えを面白可笑しく語っており、豊富な経験からの言葉は魅力的である。



#### 【モチベーションは朝礼にあり】

そんな同社の社長である清松 芳夫氏は対外的な取り組みに加えて、社内のメ

ンバーに向けた活動にも力を入れている。

特に社長も出席して毎朝行っているという朝礼は、独創的で活力に溢れており、特に月初には15分程度の社長講話を取り入れていて、毎回面白くて分かりやすく、すぐに社員のモチベーションを引き上げることができると話題になり、毎月社外から見学者も大勢つめかけるほど。要予約だが誰でも受け入れているとのこと。

その他、その朝礼での取り組みは枚挙に暇がない。代表的なものを取り上げると、まずは「ええじゃないか運動」。朝礼の場で間違いや失敗を皆が我先に手を挙げて発表する。朝礼の場で言えばお咎めなしになるということで、「失敗を恐れずに何にでも挑戦する」という想いからである。また、「イイネ運動」もユニーク。仕事をしていく中で必ず一日にひとつはイイネと思うようなことを探し、全員でそれを「イイネ！」と声をそろえる。これを続ければ社員同士は自然に相手の良いところを見つけようとする癖がつき、結果的には社内に和が生まれるとのこと。

そして、特筆すべきは表題にもなっている「35億売ってハワイに行こう！」のインパクトのあるキャッチフレーズ。35億とは売上目標のことだが、清松社長は「人はワクワクする時に最もその力を發揮できるんです」と言いながら、「ハワイ



ってワクワクしませんか?」と笑う。

また、社員のモチベーションのために社長自らが企画するイベントも普通ではありえないものである。夏祭りや忘年会などは同氏の交友関係の広さを反映し、毎回数多くの有名人がゲストで参加し、テレビ番組でも取り上げられるほど。

毎年創立記念日前後には社員旅行としてすべて会社負担で海外に行くという。

#### 【地域への貢献】

地域への貢献にもその力を注いでいる。ニュースでも取り上げられているが、県立工科短期大学校や宇佐市への寄付、国民文化祭への取り組みとして宇佐市が催した「光の祭 Art by TeamLab」へ民間では唯一協賛したり、災害時に社屋の屋上を近隣に開放する防災協定を市との間に結んで、それに伴う防災訓練にも協力したりした。業績好調な同社であるが、それを社会に還元する姿勢は同社の社是を思わせる。

清松総合鐵工(株)はこれらの取り組みから従業員の満足度も非常に高く、受注も継続的に安定しており、今後の伸展も大いに期待される。

#### 【会社概要】

所在地：〒879-0304

大分県宇佐市大字尾永井470-1

TEL 0978-32-2176

FAX 0978-32-0573

代表者：清松 芳夫

創業：昭和42年3月

資本金：1,000万円

業種：鉄骨工事

社是  
自らのため  
人のため  
自分のため